

# 砂名の ベトナムに乾杯

## 第29回 初めて体験する、小動物たちとの闘い

子供の頃、道を横切り、側溝に潜り込むネズミの姿は時々見かけましたし、ベトナムでは飲食店内を走り抜けるのを見ることがあります。ですがまさか自分が、彼らと戦う羽目になるとは思いもしませんでした。

【蔵 KURA】がオープンした当初、裏庭には小さな花壇がありました。土の所々に穴が開いています。最初モグラかと思ったのですが、しばらくするとネズミが姿を現しました。当店で裏庭とはガラスで仕切られていますから、店の中から外がよく見えます。「あ、ネズミだ!」とお客様が声を上げられ、ガラス越しに…まるでナイトサファリ状態です。

ネズミはハーブの香りが嫌いだ、蚊取り線香は? しかし一向に効き目はありません。「生ぬるい、花壇を潰しましょう!」。工務店さんに撤去をお願いしました。ネズミの駆除も提案されましたが、ネズミ取りや毒を数回にわたって仕掛けるといふものでした。ネズミ取りに引っ掛かったネズミは誰が処分するの? 毒を飲んだネズミが物陰でのたうちまわって死んだ挙句、やがて悪臭を放ち…という体験談を聞いてから毒は絶対反対。幸い彼らは店内に入って来ることはありませんでした。ウチは調理が必要なフードメニューがほとんどなく、食べ物を外に放置しないからでしょう。彼らは危険を冒してまで、餌のない家屋に侵入することはありません。

さて花壇を撤去したところ、走りまわ



年に数回、たわわに実を付けるスターフルーツ。実が落ちるとネズミの餌になってしまうため、収穫と手入れは欠かせません。

るネズミを見かけることはほとんどなくなりましたが、夜の間に店の外の廊下が彼らのトイレと化してしまいました。ベトナムに来て初めて、ネズミの糞尿の掃除をしました。朝、ネズミ様のシモの始末から始まるというのは辛いものです。表玄関にも出没しているのか、ネズミのバラバラ死体があつたとスタッフが言います。野良猫が戦利品を並べたのでしょう。「超きもーい! 私、(良く見えないよう)メガネ外して掃除したよ」とスタッフ。

ネズミ駆除に関するホームページを片っ端から読みました。子ネズミが出入りする金網のところにモップを立てかけてみました。翌日、案の定モップは倒れていて、糞は落ちていませんでした。音にびっくりしたのでしょう。ところが翌日からはまた元の木阿弥。ネズミは学習能力の高い賢い動物です。器用にモップを避けて入り込んでいるようです。まさに「イタチごっこ」ならぬ「ネズミごっこ」。ネズ

ミは嗅覚が鋭いため、彼らが嫌がる匂い、煙草の吸殻を置いてみたり漂白剤を散布してみたりしてみました。もっとシンプルな撃退法はないものか?

私の住む住宅街は空き巣被害が多く、昔、対策マニュアルを読んだのを思い出しました。まずはお宝を家に置かないこと。地面に音が出る玉砂利を敷く。死角になる場所を作らない。そして泥棒は「入りやすい家に入る」が鉄則なんだそうです。そこで、ヘム40側の扉の下の5cm程の隙間を板で塞ぎました。「そんなことしてもネズミはどこからでも、たった1cmの隙間でも侵入するよ」と工務店さんに笑われたのですが、やってみたところ、見事に解決しました!

先日テレビで映画「トムとジェリー」を観ました。子供の頃はジェリーがあの手この手でトムを翻弄するのが小気味良かったのですが。今観ると、「トムにそこまでする?」と、ジェリーが憎々しい! 自分の変化に驚いています。



月森砂名(つきもりさな)

奈良県出身。同志社大学卒業。2015年、ベトナム初の角打ち【日本酒で乾杯!】に続き、2020年、Pham Viet Chanhにて日本酒専門の「角打ちのある酒屋」【蔵 KURA】をオープン。経営に携わる。東京で舞台撮影や制作の仕事をする傍ら、作家活動を行う。2009年よりNPO法人 Layer Boxにて、日本の伝統文化について、大学、高校、専門学校とともに、PV、3D、CGなどのコンテンツ制作および世界発信を行う。